

図書館だより

2026(令和8)年 二十歳のつとひ特別号



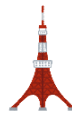
東広島市観光マスコット「のん太」

二十歳を迎えられる皆様、おめでとうございます。皆さまが、これからますますご活躍されますよう、心よりお祈り申し上げます。
東広島市立図書館一同

2005年(平成17年)のベストセラーを紹介します!

- 1 『もっと、生きたい…』(Yoshi/著 スターツ出版)
- 2 『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』(リリー・フランキー/著 扶桑社)
- 3 『恋バナ(青・赤)』(Yoshi/著 スターツ出版)
- 4 『野ブタ。をプロデュース』(白岩 玄/著 河出書房新社)
- 5 『ハッピーバースデー』(青木和雄 吉富多美/著 金の星社)
- 6 『ダ・ヴィンチ・コード(上・下)』(ダン・ブラウン/著 越前敏弥/訳 角川書店)
- 7 『いま、会いにゆきます』(市川拓司/著 小学館)
- 8 『半島を出よ(上・下)』(村上 龍/著 幻冬舎)
- 9 『対岸の彼女』(角田光代/著 文藝春秋)
- 10 『東京タワー』(江國香織/著 マガジンハウス)

図書館に蔵書がない場合があります。



※トーハン調べ
2005年年間ベストセラー(単行本・文芸編)



2005年4月～2006年4月の話題

- ▶環境省が「クールビズ」提唱。
- ▶北海道「知床」世界自然遺産に登録。
- ▶終戦から60年。小泉首相が声明を発表。
- ▶郵政民営化関連法案が可決・成立。
- ▶宮城県沖地震発生。M7.2、最大震度6弱。
- ▶イタリアトリノ冬季オリンピック開催。
- ▶競馬 菊花賞でディープインパクトが優勝し、「三冠」を達成。



2005年、2006年の流行語

- ★小泉劇場 ★想定内(外)
- ★クールビズ ★刺客 ★ちょいモテオヤジ
- ★フォー！ ★富裕層
- ★ブログ ★萌え～ ★ボビーマジック
- ★イナバウアー ★品格



2005年4月～2006年4月の出来事と関連本の紹介

JR福知山線列車事故

2005年4月25日、兵庫県尼崎市にて列車の脱線事故が発生した。運転士を含む107人が犠牲となり、負傷者は562人という大惨事。無事だった乗客や救助活動を行った消防隊員等もPTSDを発症するなど、多くの影響を及ぼした。

現在、事故があった場所には慰霊碑が設けられている。また、この痛ましい事故を風化させないために、追悼施設「祈りの杜」も整備されており、事故発生当時の様子などが展示されている。



『軌道
福知山線脱線事故
JR西日本を変えた闘い』
松本 創/著
東洋経済新聞社
(2018.04)

野球 第1回WBCで日本が優勝

2006年3月20日、第1回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)決勝戦で日本代表がキューバに10対6で打ち勝ち優勝、日本中が熱狂した。彼らの中心にいたのは「イチロー」だった。10年連続200本安打、メジャーリーグのシーズン最多安打数262本の実績を残すイチローは、選手の側面よりも求道者のイメージが強い。人生をかけて手に入れたい何かがある人は『イチローの流儀』を読んで欲しい。あなたに届くメッセージが必ずあるはずだ。



『イチローの流儀』
小西 慶三/著
新潮社(2006.03)

※表紙画像は文庫版(新潮文庫刊)です。

宇宙飛行士 野口聡一さん宇宙へ

スペースシャトルの日本人宇宙飛行士5人目となった野口聡一さんは、2005年7月26日に初めて宇宙に飛び出した。スペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗して国際宇宙ステーション(ISS)へ向かった野口さんは、日本人としては初めて船外活動のリーダーを務め、計3回、延べ20時間5分の船外活動を実施。この偉業が宇宙飛行士としてのキャリアにおける重要な第一歩となり、25年間の活動の中で3度の宇宙飛行を成功させた。



『オンリーワン
ずっと宇宙に
行きたかった』
野口 聡一/著
新潮社(2006.03)
※版元品切れ

▼2024年以降に出版されたオススメ本▼

名作に学ぶ 人生を切り拓く教訓50

西岡 竜誠／著
アルク（2024.10）



世界の名作全50作品から得られる教訓を、ストーリーの解説とともにわかりやすくまとめている本。タイトルは聞いたことがあってもストーリーは知らない、という名作は多いのではないだろうか。しかし、この本を読めば、ストーリーと教訓を通して、作品に込められている著者の思いを理解することができる。また、これから生きる上で必要なことを教えてくれるはずだ。

論理と感性を磨く！ クリティカル・シンキング

仲道 哲二／著、池田 阿佐子／著
クロスメディア・パブリッシング
（2025.03）



社会に出ると、情報を見極め、判断する力が求められる。この本は、物事を深く考え、自分の意見を的確に伝える力を養う一冊であり、論理的に考えるだけでなく、感性を大切にしながら柔軟に発想する方法を教えてくれる。これから新しい一歩を踏み出す新成人にこそ読んでほしい、思考のトレーニングブックである。文字が少なめで、読書が得意でなくても読みやすい内容となっている。

あの時のわたし

岡野 民／著
新潮社（2024.11）



様々な分野で活躍している27人の忘れられない「あの時」を、雑誌『暮らしの手帖』の記者である著者が聞き書きした本。語り手の心に深く刻まれた数々の出来事や経験を通して培った物事の見方、考え方は、私たちが大事な選択に悩むとき、困難な状況に立ち向かうときに、きっと背中を押してくれるだろう。自分らしい人生を送るヒントをそっと教えてくれる一冊。

影響力を上げる

河村 正剛／著
CEメディアハウス（2025.03）



2010年のクリスマス、漫画『タイガーマスク』の主人公「伊達直人」を名乗る人物が児童相談所にランドセルを贈ったことをきっかけに、支援の輪が全国に広がった。「伊達直人」の名を使った張本人である著者は、自分の特異な環境を原動力に変え、いかに行政や民間企業までも動かすに至ったのか。著者が強い思いを実現するために実践してきた、「人と関わる力」「人の親身になる力」「壁を突破する力」などの使い方を具体的に教えてくれる一冊。

僕は猛禽類のお医者さん

齊藤 慶輔／著
KADOKAWA（2024.10）



北海道釧路市にある、野生の猛禽類を保護・治療する施設「猛禽類医学研究所」。ここでは、オジロワシやシマフクロウの保護増殖事業、猟銃の弾による中毒症状や交通事故で傷ついた猛禽類の救護などを行っている。猛禽類の命を守るべく研究所をたちあげ、代表を務める獣医師が、その活動と自然界との共生について、エピソードを交えて語る。

身近すぎて気づかない、 偉大な発明図鑑

クライブ・ギフォード／著
日経ナショナルジオグラフィック
（2024.11）



絆創膏、紙幣、口紅など、普段なにげなく使っているあんな物やこんな物も、実はすごい発明品だった！？ さまざまな身近にある物を「家庭」「仕事」「遊び」という3つのカテゴリーに分け、開発や普及にまつわるエピソードを紹介する。現代の生活では見慣れた物にも意外な歴史があり、先人の苦労や努力に思わず頭が下がる。あなたのちょっとしたアイデアからも、偉大な発明が生まれるかもしれない。

100BASICS 日本が生んだ傑作100選

世界文化社（2025.06）



長く愛されるメイド・イン・ジャパンの傑作100点を紹介する本。キッコーマンの醤油さしや、日清食品のチキンラーメン、一度は持ってみたいブランド時計など、これもメイド・イン・ジャパンの傑作だったのか！という発見があり、そして長く愛されるには理由があることも分かる。マル二木工の家具「HIROSHIMA」も傑作として掲載されており、地元で誇れるブランドがあるのはウレシイこと。

▼生まれた年（2005年4月～2006年4月）に出版されたオススメ本▼

翻訳家じゃなくて カレー屋になるはず だった

金原 瑞人／著
牧野出版（2005.12）
※表紙画像は文庫版（ポプラ社刊）です。



就職活動で出版社から内定をもらえず、大学卒業後はカレー屋をしていたところ、偶然再会した卒論の指導教授のすすめにより大学院に進学。そんな著者が、そこから翻訳家の道に進むことに。「I」って誰を指しているんだと手がかりを探したり、原題を直訳して出版したら続刊が全く関係のないタイトルで続きものとわからなくなってしまったりと、頭を悩ませることもしばしば。翻訳家の現実をおもしろおかしくのぞくことができる。

▼2024年以降に出版されたオススメ本▼

校正・校閲11の現場

牟田 都子／著
アノニマ・スタジオ（2024.12）



言葉のあるところに校正はある。本や雑誌に始まり、レシピ、地図、テレビのテロップなど、さまざまな場面で必要とされ、読者（視聴者）の目に触れる前の最後の砦となるのである。そうした11の現場でのインタビューを集めたのがこの本だ。媒体による校正方法の違いや仕事での楽しみ、全然違う分野なのに共通した作業があることなど、普段目につかない言葉の見せ方という面白さに触れることができる。

風景で紡ぐ 明日、花笑むための ことば113

紡季／著
WAVE出版（2024.11）



現代では使われることが少なくなった、美しいことばの数々。古くから日本人に愛されてきたことばの持つ意味や響きが、日常に追われ、疲れや不安の中にあるあなたに、そっと寄り添ってくれる。そんなことばたちに触れ、花笑んで（花が咲いたように笑って）欲しいとの願いが込められた一冊。季節の花や風景の写真にも、著者からの励ましをもらえる。

世界99（上・下）

村田 沙耶香／著
集英社（2025.03）



自称「人間ロボット」の主人公・空子の一生に沿って語られる、便利でかわいい生き物「ピョコルン」を創り出した人類の壮絶な物語。一見突拍子のない設定となってはいるが、現代社会において多くの人が直面するであろうあらゆる差別、圧力、しがらみなどの現実を否応なく突き付けてくる。目を背けたくないような描写も多く、読み進めるのにかなりの覚悟が必要だが、こういった強烈な読書体験を味わうことで得られるものも確実にあるはず。

実はおもしろい 古典のはなし

谷頭 和希／著、三宅 香帆／著
笠間書院（2025.04）



さまざまな時代やジャンルの日本の古典について、高校で古文を教えていたという谷頭和希と、話題の書評家・三宅香帆が楽しく語る本。難しく固いイメージのある古典だが、視点を変えてみると実は身近で面白いということを教えてくれる。この本を読めば、教科書で断片的にしか知らなかった作品を手にとってみたくなるかもしれない。古典が好きな人はもちろんだが、苦手な人にもぜひ読んでみてほしい。

底辺の大工、ヤバイ アメリカで生きのびる

地獄海外難民／著
KADOKAWA（2025.01）



当時婚約者だった妻の母国アメリカへ移住した著者。キラキラした海外生活が始まるかと思いきや、現実には甘くなかった。職場では人種差別に苦しみ、常にレイオフ（解雇）の影に怯え、物価高騰により副業をかけもちするも生活費が足りず、借金を重ねる日々……。暮らしは底辺でも、愛する家族とリアルに生きている大人の姿がここにある。理不尽な世界で自分を見失わずに生き抜く著者から、未来へ踏み出す勇気をもらおう！

夜ふけに読みたい 旅するイソップ物語

イソップ／著
平凡社（2025.01）



昔から伝わるたくさんの物語が、時を越え、場所を越えて、現代の私たちにさまざまなことを教えてくれる。例えばイソップ物語の「アリとキリギリス」。日本に伝わった明治時代、福沢諭吉はキリギリスをイナゴと訳したそう。コオロギやトンボとして伝えられているところもある。こうした変化はあっても、変わらない人類共通の教訓がイソップ物語にはある。時と場所を越えて伝わるイソップ物語をじっくり味わおう。

ほんのささやかなこと

クレア・キーガン／著
早川書房（2024.10）



アイルランドのニューロスという町に、厳しい冬がやってきた。石炭販売店を営むビル・ファーリングは、妻と5人の娘をもつ7人家族。娘たちを心から愛し、幸せな暮らしを送っていたビルだったが、配達のために訪れた女子修道院でのある出来事がきっかけとなり、自分自身と向き合う苦悩の日々が続く……。揺れ動く心情が巧みに描写された、数十年前の史実に基づく物語。

▼生まれた年（2005年4月～2006年4月）に出版されたオススメ本▼

生協の白石さん

白石 昌則／著
講談社（2005.11）



大学の生協に寄せられた、学生からの質問や要望に、担当者の白石さんがユーモアかつ誠実さをもって答えた一冊。しかし、寄せられた内容の中には生協とは直接関係のない難題も。返答に困る質問を投げかけられたり何かに悩んだりしたときに、白石さんの機知に富んだ回答を読めば解決の糸口を見つけられるかも！？ 当時の20代の質問に共感できることもあれば、時代の違いを感じることもあるかもしれない。

図書館カレンダー



マークの見方

■全館休館
(※高屋図書館を除く)

○中央図書館のみ開館

△中央図書館のみ休館

※高屋館の休館日は日曜日・祝日。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



臨時休館日 集中的な所蔵資料の整理・点検などを行うため、完全に休館します。返却用ブックポストは開いています(※黒瀬館を除く)。ただし、CD・DVD・他自治体の資料は開館時にカウンターで返却してください。	黒瀬図書館 (改修工事のため長期休館) 12月15日(月)～3月6日(金)	安芸津図書館 2月4日(水)～2月6日(金)
	福富図書館 2月4日(水)～2月6日(金)	豊栄図書館 2月6日(金)
河内こども図書館 2月9日(月)～2月12日(木)	中央図書館 2月12日(木)～2月19日(木)	サンスクエア児童青少年図書館 2月20日(金)～2月24日(火)

利用案内

◆図書館利用カードの発行や

電子図書館の登録の際にご準備いただくもの

<各図書館の窓口でのお申込み・ご登録>

本人のお名前と現住所(実際に住んでいる所)が確認できるもの(保険証、免許証、住民票など)をご持参ください。

※証明書の住所と現住所が異なる場合は、現住所宛の郵便物などをお持ちいただければ、お手続きできます。

※電子図書館がご利用可能な方は東広島市に在住または通勤・通学されている方のみです。

<LINEでのお申込み・ご登録>

図書館ホームページをご確認ください。



◆広島大学・広島国際大学の学生のみなさんへ

大学図書館(広島大学は中央図書館窓口、広島国際大学は本館1号館)で東広島市立図書館の本・CD・DVDなどの貸出・返却ができます。

<図書館で利用できる調べものに役立つサービス>

- ◆全館 ◆高屋図書館以外 ◆中央図書館のみ
- ◆中央・高屋図書館のみ ◆中央・安芸津・福富・豊栄図書館のみ
- ◆レファレンスサービス/調べものの相談
- ◆ルール電子図書館
／農山漁村文化協会データベース、農業の総合情報サイト
- ◆デジタルアーカイブシステム ADEAC©
／全国各地の歴史資料を横断検索
図書館ホームページからもアクセス可能
- ◆国立国会図書館デジタルコレクション
国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧
- ◆日経テレコン 新聞・雑誌などの情報を検索・収集
- ◆官報データベース 法令など政府情報を掲載
- ◆フライヤー ビジネス書等の要約版
- ◆新聞記事スクラップ
中央図書館/「東広島」「日本酒」「原爆」「古墳」に関すること
福富図書館/「福富」「図書館」に関すること
豊栄図書館/「豊栄」に関すること
安芸津図書館/「安芸津」に関すること「安芸津に関わる人」

図書館の最新情報は
ホームページを
ご覧ください



ホーム
ページ



Web
OPAC



電子
図書館



Face
book



中央図書館

東広島市西条中央7-25-11

TEL 082-422-9449

FAX 082-422-9447

サンスクエア児童青少年図書館

東広島市西条西本町28-6

TEL 082-424-3899

FAX 082-424-3877

高屋図書館

東広島市高屋町中島450-5

TEL 082-422-9449 (中央図書館)

FAX 082-422-9447 (中央図書館)

黒瀬図書館

東広島市黒瀬町菅田10

TEL 0823-82-1101

FAX 0823-82-1104

(休館期間中は中央図書館へ転送されます。)

福富図書館

東広島市福富町久芳1545-1

TEL 082-435-3520

FAX 082-435-3521

豊栄図書館

東広島市豊栄町鍛冶屋271

TEL 082-432-3611

FAX 082-432-2075

河内こども図書館

東広島市河内町中河内1166

TEL 082-437-1711

FAX 082-437-1722

安芸津図書館

東広島市安芸津町三津4398

TEL 0846-45-2335

FAX 0846-41-1021